

報告事項

鳥取大学と鳥取県教育委員会との意見交換会の概要について

鳥取大学と鳥取県教育委員会との意見交換会を開催しましたので、その概要について報告します。

平成25年6月28日

鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一

## 鳥取大学と鳥取県教育委員会との意見交換会の概要について

教育総務課

- 1 日 時 平成25年5月16日(木) 午後3時～午後5時15分
- 2 場 所 白兔会館「飛翔東」の間
- 3 出席者 鳥取大学：学長、理事、副学長 他 計16名  
県教育委員会：教育長、教育次長、次長、参事監 他 計18名

### 4 会議の概要（主な発言◇；鳥取大学、●；県教委）

#### （意見交換1）「グローバル人材の育成について」

- ・双方の学力向上に向けた「グローバル人材の育成」の取組みについて説明し、意見を交換。

◇鳥取大学では、語学教育の効果を測定する方法として、TOEIC 点数の推移を追跡している。県教委は？

- 指標として GTEC for STUDENTS や英語検定、到達目標として Can-do リスト、スピーキングテストによる表現力評価などの取組を進めている。

◇留学生選考では「話すこと」をチェックしていない。実際に留学してきた学生を見るとブローケン英語でも充分通用している。うまくいくコツは、コミュニケーションをとりたいという意欲をもっていること。

#### （意見交換2）「鳥取大学の学生支援体制の現状について」

- ・鳥取大学の学生支援体制の現状について説明。鳥取大学より、県教育委員会事務局の支援体制を参考としたいとの強い要望あり。

◇学生・職員の精神的なケアを最重要課題と捉え、施策を実施。保険管理センターの健康相談、24 時間電話健康相談、何でも相談窓口、発達障害について保護者との連携と学生支援など多くの窓口を準備している。

- 教職員の研修体制、不登校の第1次～3次支援、hyper-QU、いじめ・不登校総合対策センターについて、具体的に説明。

#### （意見交換3）「鳥取県出身の鳥取大学入学生の特徴や課題から鳥取県教育に望むもの」

- ・鳥取大学入学生について説明をいただき、意見を交換。

◇入学生対象「人間力アンケート」（知力・気力・体力・実践力・コミュニケーション力）と2年後の成績との相関分析によると、「人間力が高いと答えた学生の方が2年後の成績が高い。つまり両者には正の相関がある」という結果。

鳥取県出身者は人間力アンケートの数値は全体平均よりも低い、2年後の成績は全体平均より高く、一般的な相関に反する結果である。このデータから、鳥取県出身の学生は成績は良いが少し引っ込み思案、遠慮がちだという傾向が見える。

◇個人的に感じている特徴としては3点ある。①一般論は語れるけれども、自分の体験や生活に基づいた意見、考えに若干乏しい。②語ることに自分が存在していない、つまり自分がない。③考える前に答えを探す傾向がある。

- アクティブラーニング的な場所で、思考力・判断力・コミュニケーション能力・課題解決に向けた活用能力を、これからの子供たちにつけていく学力と感じている。

